



青森河川国道ニュース

触れて・造って・愉しんで 中学生が建設業の魅力を体験



稲垣中生徒が「体験型現場学習会」 | 2017.10.5

■建設業へ興味をもってもらうために

これまで、高校生・大学生を中心に、現場見学会などを通じて建設業界の人材確保に向けた活動を実施してきましたが、近年の少子化・建設業離れが進んでいることから、更に若い世代である好奇心旺盛な中学生に建設業への興味をもていただくことを目的とした「体験型現場学習会」を実施しました。

(主催:一般社団法人 青森県建設業協会/青森河川国道事務所)



■測量や建設機械への乗車を体験

今回の学習会は、申し込みのあった、つがる市立稲垣中学校において、2年生28名を対象に行われ、土木・建設業の役割、重要性等についての説明を受けたあと、『歩測器材を使用した実測等の測量体験』や『バックホウや高所作業車に実際に乗車してみる建設作業機械の操作体験』『ブロック張等体験』を行いました。



■体験してみて

「なかなか出来ない事を体験させてもらったり、建設業の皆さんの大変さなども知ることが出来て勉強になりました」

「応募した目的は、子供達に建設業を体験をさせ、この経験を将来のため、自分自身のために活かしていてもらいたいという思いでした」

「子供達の表情を見ると、「作業をやめなさい」と言ってもやめないぐらい、夢中になってやっていたので、良い体験をさせていただいたと思っています」

参加者の
声

